

女満別空港

【実施主体：個社】

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ	委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として、委託先とのFY23契約金額に値上げを反映し実施済み。	【委託費改定率】 グループ外委託先各社：平均+6.2%（FY22対比）
	総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の見直し検討に着手。	
	検査会社への委託料の見直し	本社にて、国内定期航空保安協議会を通じて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料金の見直し検討に着手。	
	関連団体への次年度契約料金の値上げ交渉	契約先の関連団体との意見交換を実施。次年度の契約料金の引き上げを申し入れ、交渉している。	
【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定 等）	委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋がられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。	
	検査会社への委託契約条件の設定	本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。	
【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進	オフィスや休憩スペースの増床・リニューアル	貨物事務所増床(事務所+貨物荷捌き) 女性スタッフ着替え場所の確保、増床による業務環境改善	
	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
	休憩室へのコロナ対策、除菌・脱臭装置の導入	感染症予防および休憩室をより良い環境にするため、「UV-LED」と「光触媒」による除菌・脱臭装置を逐次導入した。	
	採用難空港における社宅の整備	従来は地方空港は空港までの通勤圏内者を採用していたが、寮、社宅を整備し、通勤圏外、全国からの採用を進めている。	
	一部採用難空港における寮費無償	新規採用者については、入社後6か月間の無償貸与を検討中、R5年10月開始予定	

【実施主体：個社】

【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制			
【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	自社グループ空港業務採用情報の特設サイトを公開	空港業務の幅広さや魅力を発信し、グループ各社への応募者増や委託先各社の採用機会に繋げるため、空港業務の採用情報に特化した特設サイトを公開。	
【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	地元地域就学生対象の遊覧チャーターと空港見学の実施	地元自治体と自社グループと連携した教育事業として遊覧チャーターと空港お仕事体験見学を年数回実施。	
	既卒採用の実施	経験者採用の実施。	
	入社準備金の新設	新規採用者の入社時の移転費用の負担軽減を目的として、入社準備金を支給する制度を新設した。	
【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	係員の訓練時間の適正化	本社にて、受託にかかる訓練時間の短縮余地の精査を実施。	
【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	空港間の応援派遣	需要回復に対応するため、空港単体でのリソースで対応が難しい場合には、他空港から又は他空港への応援者を派遣することでリソース不足を解消。 R5.2旭川空港から応援派遣受け入れ（チャーター増便対応） R5.4鹿児島空港へ応援派遣（生産体制確保）	
【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備			
【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。	
【中期】 特定技能制度の積極的な活用			

【実施主体：空港会社等】

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 空港内の労働環境の改善	空港運用部事務所内エアコン整備（入替、新設）	空港運用部事務所で、古く正常に機能していないエアコンの入替と、これまで未設置であったスペースに新たにエアコンを設置することで、従業員の労働環境改善を実施。	
【短期】 空港内の労働環境の改善	空港運用部事務所内ストーブ更新	空港運用部事務所のストーブが経年劣化で不動作や作動異常となっていたが、4台を更新し、労働環境改善を実施。	
【短期】 空港の知名度を生かした採用活動			
【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修	空港運用部内での他課業務教育の実施	運用部内で課を超えた協業化を目的に、灯火電気課の灯火チェック業務、運航情報課のランウェイチェック業務、フォローミーカーによる誘導業務、マーシャリング業務の教育・訓練を実施。	実務での実施機会が多くないため、しっかり定着したとは言えないが、意識の醸成にはある程度の効果があったと感じられる。
【短期】 空港WGの活用推進			
【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進			
【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備等）			
	ハンドリング要員対策会議を開催	R5年11月にA/L、ハンドリング会社、保安検査会社を集めて第1回ハンドリング要員対策会議を開催、人員の充足状況と今後の見通しを共有した。 R6年2月に第2回の会議を開催、前回の出席者に加え、CAB MMB所長、北海道オホーツク総合振興局担当者にも参加いただき、現状と今後の見通しを共有した。	参加者を拡大したことで、それぞれの知見を持ち寄って採用に資する具体的な施策を実行することが期待される。

【実施主体：地方自治体】

女満別空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化（人員体制等の正確な現状把握等）</p>			
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>	<p>オンラインセミナーの開催</p>	<p>移住担当課と連携して、移住希望者や空港業務に関心のある層を対象に、空港業務の内容ややりがいなどを説明するオンラインセミナーを開催。</p>	
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>			
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討</p>			
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			

【実施主体：国】

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 各地の空港におけるベストプラクティスの横展開（事例 収集・整理 等）			
【短期】 地域の意欲的な取組への積極的な協力 （空港説明会への参画等）			
【短期】 生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援（先進 機器の整備補助 等）			
【短期】 各主体による取組の重要性の発信			
【短期】 空港WGの活用推進			
【中期】 空港DXの導入促進に向けた実証実験			
【中期】 更なる支援措置等の検討（人材確保・育成、業務効率 化、GX/DX等）			